

グローバルイノベーション創出支援事業 平成30年度上半期の主な取組みについて

グローバル展開に向けた取り組み

ヨーロッパとのネットワーク構築、事業連携推進

平成30年5月27日～6月3日



目的・概要

- ・ヨーロッパの新たなスタートアップハブとして急成長するオランダおよびポルトガルでの施設訪問や意見交換を通じて情報収集するとともに、大阪の取り組みについて情報発信する。
- ・国際会議やピッチイベントへのスタートアップの推薦など、今後の事業連携について関係機関と協議する。

成果・今後の展開

- ・3都市(アムステルダム、ロッテルダム、リスボン)の計13機関の訪問、国際ピッチイベントGet in the Ring 2018参加を通じて意見交換を行い、未開拓のエリアにネットワークを広げた。具体的な事業連携に向けて対話を継続。
- ・Hack Osaka 2019への登壇者(キーノートスピーカーおよびパネリスト)3名の発掘に成功したほか、合わせて実施予定の国際ピッチコンテストや商談会に対しても、審査、応談など様々な形での協力を得ることになった。

米国(シカゴ)とのネットワーク構築、事業連携推進

平成30年7月14日 ※MOU締結は10月22日



目的・概要

- ・大阪市とシカゴ市の姉妹都市提携45周年を記念したシカゴ市代表団の大阪訪問にあわせ、地域経済成長を推進する官民連携の支援組織ワールドビジネスシカゴおよび全米有数の規模を誇るイノベーション拠点である1871と意見交換し、事業連携に向けた協議を開始した。

成果・今後の展開

- ・10月には1871とMOUを締結し、双方の地域におけるスタートアップの国際的な成長と市場の発展について協力することを確認した。
- ・今後は、ピッチコンテストや支援プログラムに互いのスタートアップを送り込むなど、具体的な連携に取り組む。



グローバル展開に向けた取り組み

Jetro Innovation Program (JIP) 深セン

平成30年9月7日～12日

目的・概要

- ・ジetroとの共催事業、深セン側パートナーは深セン清華大学研究院
- ・イノベーティブな技術・製品を有する中堅・中小・ベンチャー企業の海外ビジネス展開を支援するプログラムであり、日本国内特許・実用新案といった知的財産権を有した企業を深センに送り込み、ピッチ・商談会を実施した。

参加・実施状況

- ・参加企業：12社(OIHで事前に実施したブートキャンプ参加企業から決定)
- ・参加目的：量産化や資金調達、サプライチェーン発掘等
- ・具体的な資金調達・商談に進んでいる企業もあり、今後ともフォローアップに努める。



Tech In Asia Tokyo 2018

平成30年9月20日～21日

目的・概要

- ・アジア最大級のテクノロジーイベントである「TECH IN ASIA TOKYO 2018」に、OIHがブース出展し、大阪市が支援している起業家とともに、来場している国内外のスタートアップ、大企業、VC等投資家に対して活動をPR

参加・実施状況

- ・来場者 約1,000人(2日間延べ)、ブース出展 88社
- ・グローバルに活動するベンチャー企業等と接触し、「Hack Osaka」で開催する国際ピッチコンテスト「Hack Award 2019」への登壇を誘導するなど、本市施策をPRした。
- ・ブース出展していたSoft Bank クラウド社と意見交換した結果、同社が主催するピッチコンテスト「Create@TOKYO」にOIH推薦枠を確保。登壇した2社が優勝、準優勝し、大阪の存在感を示すことができた。



グローバル展開に向けた取り組み

海外ワークショップ(シンガポール)

平成30年9月25日～29日

目的・概要

- ・起業家、学生等を海外のイノベーション先進地に派遣し、現地の起業家との交流やピッチへの登壇、メンタリングの機会を通じてマインド醸成やビジネスプランのブラッシュアップを図る。大阪市としても、現地の政府機関やイノベーション支援機関に大阪の取り組みを情報発信して関係を構築し、国際連携のより一層の拡充をめざす。
- ・OIH開設後4年間は米国のシリコンバレーに、昨年度は中国の深センに派遣先したが、今年度は地理的優位性と政府の強力なバックアップにより、人材集積とイノベーション・エコシステムの確立に成功したシンガポールを訪問した。



参加・実施状況

- ・起業家、起業を志す学生、大企業の新規事業担当者の計18人(全員Developer Circle by facebookのメンバー)が参加。
- ・現地では4日間にわたり、現地の日本人・シンガポール人起業家や支援機関との意見交換、インキュベーション施設やfacebook Singaporeの訪問、現地のメンターや大学関係者等に対するピッチなどのプログラムを提供した。
- ・参加者は、東南アジアのハブであるシンガポールの利点を最大限に活用して活躍する先輩起業家との交流や、短期間で形成された独自のイノベーション・エコシステムの体感、英語でのピッチ・メンタリングなどを通して、非常に強い刺激を受けていた。
- ・大阪市としては、シンガポール訪問の機会に合わせて現地の政府機関やVC、支援機関等を訪問し、OIHとの事業連携およびHack Osaka 2019への参画に誘導すべく協議を行った。

成果・今後の展開

- ・シンガポール国立大学(NUS)との意見交換を契機に、OIHとNUSの事業連携に向けた協議を開始。ワークショップ参加者のビジネスプランを事業化につなげられるよう、サポートを続けたい。
- ・大阪市としても、訪問先においてHack Osaka 2019へのパネリストとしての登壇依頼、これと合わせて実施する国際ピッチコンテストへの応募者の推薦依頼、コンテストの審査員の依頼を行い、すべて快諾を得たほか、審査員候補によるコンテスト出場スタートアップのサポートも受けることとなった。
- ・さらには、現地の政府機関直轄組織と、Hack Osaka 2019の会場においてMOUの締結を行うべく調整を進めている。



イノベーション創出に向けた取組み

ピッチ



毎月第2・第4金曜 午前7:00 ~ 8:45

目的・概要

- ・ シード～アーリー期の企業や新規事業に意欲的な企業がプレゼン
- ・ 大企業やVC、金融機関、メディア等のオーディエンスが評価・アドバイス

参加・実施状況

- ・ 平成30年8月6日に「関西オープンイノベーションカンファレンス～Morning Meet up 100回記念ピッチ～」を開催。共催者である関西経済同友会が「関西ベンチャーフレンドリー宣言」を発表。



Open Innovation (ベンチャー企業 × 大企業)

平成30年9月21日(1回)

目的・概要

- ・ 大企業の技術・開発上の課題解決に向けたベンチャーとの協業を促進。

参加・実施状況

- ・ 凸版印刷西日本オープンイノベーションプログラム「co-necto 2018」説明会:30名参加
- ・ 下期はサンスター、オートボックスセブン、NTT DATAほか数社との共催を予定。

大企業イントルプレナーミートアップ

平成30年6月10日～9月29日(8回)

目的・概要

- ・ 大会社の新規事業担当者を対象に、約7ヶ月間かけて密度の濃い講義とメンタリング(計15回)で、新規事業の立ち上げをサポート。

参加・実施状況

- ・ 参加者合計 社会人17名
- ・ 下期は7回実施予定
- ・ 0から1を生むプロセスに関する多様で最先端の情報を、各分野のプロフェッショナルが直接レクチャー

目的・概要

- ・創業前後のベンチャー企業に対し、起業経験者やオープンイノベーションを志向する大企業、VC、メディア、専門家等と連携して「短期集中的な事業化の加速支援」を行うことで、関西のイノベーション創出力の強化をめざす
- ・プログラムの成果として、大企業等との事業連携や資金獲得をめざす

【概要】

- ・1期につき4ヶ月間で、支援プログラムを実施
- ・メンター陣による各種勉強会や、個別メンタリングにより、ビジネスモデルをブラッシュアップ
- ・VCとの集中メンタリングや、大企業とのネットワーク構築機会の提供、デモデイ等により、投資や事業連携をめざす

参加・実施状況

第5期:平成30年4月募集 6月～9月支援

支援企業数:9社

実績: 資金調達 6,210万円(※第5期生のみ)

(これまでの支援総額:31億6,000万円)

大企業等との事業提携 1件(※第5期生のみ)

(これまでの総計:35件)

メディア露出件数: 28回(※第5期生のみ)

(これまでの総計:137回)



大阪大学ベンチャーキャピタル(OUVC) Innovators Meeting/Innovators Conference

目的・概要

- ・大阪大学100%出資のOUVCでは125億円規模のファンドを運用し、大学発ベンチャーに投資しているが、CEOなどの人材の不足が深刻な課題である。
- ・そこで、起業家人材を主な対象として、起業家を募集している研究成果の発表、大阪大学発ベンチャーのピッチ、今年2月に上場した大学発ベンチャー代表取締役の講演などを通じて、起業家人材等との交流を図る。

参加・実施状況

開催日時:2018年9月26日

- プログラム:①大阪大学ベンチャーキャピタルの事業紹介
②ライフサイエンス分野における市場動向解説
③事業化をめざす研究の紹介
④大阪大学ベンチャーキャピタル投資先によるショートプレゼン
(株式会社リモハブ、リウマチ診断技術サービス会社、株式会社糖鎖工学研究所、シンクサイト株式会社)
⑤株式会社ジェイテックコーポレーション代表取締役
講演「ベンチャー経営の心構え」

参加対象:テクノロジーベンチャーの起業に関心のある方、
テクノロジーベンチャーでのキャリアに関心のある方、
大企業の新規事業担当者など

参加者数:57名



大阪市イノベーション創出支援補助金

目的

大学の持つ研究・技術シーズをもとにした産学連携の研究開発にかかる費用の一部を補助し、その実用化に向けた取組みを推進し、もって本市の経済活性化及びイノベーション創出を図る

概要

補助対象者

国内の大学(大学の研究者)

補助対象事業の要件(以下の全てに該当)

- ・産学連携による研究開発事業
- ・研究成果・技術の実用性を検証する事業
- ・大阪市内に事業所を有する民間企業または個人との連携事業
- ・同一の研究課題について他の補助金を受けていないこと

補助対象経費及び補助額

対象経費：設備費、材料費および消耗品費、旅費、謝金
その他

補助率：1/2 上限額200万円
(補助金以外の経費は連携先が負担)

交付確定件数(大学別) ※ H23年度は実証性検証補助金として実施

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
大阪市立大	2	1	3	4	6	5	2	23
大阪大	1	3	2	2	1	3		12
大阪府立大	2	1	3	1	2			9
立命館大	1	1	1					3
同志社大	1					1		2
大阪電気通信大		1						1
大阪医科大		1						1
室蘭工業大		1						1
徳島大				1				1
関西大					1			1
神戸大						1	1	2
兵庫県立大						1		1
和歌山大						1		1
東京医科歯科大						1		1
相愛大							1	1
大阪工業大							1	1
奈良女子大							1	1
東京女子医科大							1	1
計	7	9	9	8	10	13	7	63
予算(百万円)	20	20	20	15	13	13	13	